



大槌

10
2013. 10. 7

広報おおつち NO.568



祭り一色に町 染まる
災害公営住宅の暮らし
「ひょうたん島日記」

大槌

広報おおつち NO.568
2013年10月7日

目次

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 3-5 大槌祭り
鎮魂の祈り 復興への希望 | 14 PHOTO まちかど
3年目の仮設 ~より良き暮らしのために~
町長随想 |
| 6-7 祭り 舞台裏の人たち
吉里吉里祭り | 15 ひょうたん島日記 |
| 8-9 町民課からのお知らせほか | 16-17 教育委員会だより 城山の風 第68号 |
| 10 大槌町地域包括支援センターのページ
楽笑高齢者になろう | 18-19 大槌町カレンダー
まちのお知らせ |
| 11 保健だより | 20 大槌学のすゝめ
編集後記 |
| 12-13 復興へ一歩
災害公営住宅の暮らし | |

表紙の写真：小槌神社の宵宮祭奉納舞

祭り一色に 町染まる



定点観測 (2013年9月20日、大槌町の城山から)



鎮魂の祈り 復興への希望



大槌町の「大槌祭り」が、9月21日から3日間、大槌稻荷神社の宵宮、小槌神社の宵宮と神輿渡御の順番で、繰り広げられました。数多くの郷土芸能団体が参加し、演じる人も、見る人も、一緒になって祭りを楽しみました。震災から2年半。鎮魂の祈りと、復興への希望を託した祭りが終わり、秋の気配が一段と色濃くなってきました。

「大槌祭り」は、安渡地区の大槌稻荷神社と、町方地区の小槌神社の二つの神社の例大祭の総称です。例年は、それぞれ、日をずらして宵宮、神輿渡御を開催していました。今年の神輿渡御は、大槌稻荷神社が中止になり、小槌神社だけになりました。

21日夜の大槌稻荷神社の宵宮には、安渡大神楽、上京鹿子踊、松の下大神楽、安渡虎舞が参加し、神社の境内で上演しました。太鼓と鉦と笛の音が、夜空にこだました。

22日午前には、雁舞道七福神が加わり、大槌港に停泊中の定置網漁船の船上で舞を舞いました。

た。大槌湾に浮かぶ蓬莱島を遠望しながら、11月に最盛期を迎える秋サケ定置網漁の豊漁と、漁の安全を祈願しました。

22日夜は小槌神社の宵宮です。白澤鹿子踊、松の下大神楽、向川原虎舞、金澤神楽、城内大神楽、中須賀大神楽、陸中弁天虎舞などの団体が演舞しました。杉木立が取り囲む境内には聴衆が詰めかけ、華麗、勇壮な舞に見とれました。

23日は、いよいよ神輿渡御です。午前9時、ご神輿を乗せた2基の神輿が勢よく繰り出しました。鹿子踊、神楽、虎舞など20近くの団体が神輿を挟んで長い行列をつくりました。被災

し、新調された多くの山車が誇らしげです。御社地、旧町役場やJR大槌駅前を中心市街地を練り歩き、正午過ぎ、町役場に到着。午後は、桜木町、白澤伝承館を経由し、午後5時過ぎ、神社に戻りました。夕闇が迫る境内を2基の神輿は競い合って走り回り、観衆に惜しまれつつ渡御を終えました。

神輿渡御の順路で神輿が休んだ御旅所は11カ所。それぞれの場所で、郷土芸能の団体が演舞しました。旧役場前では、白澤鹿子踊が鎮魂の舞を舞いました。

町方地区の区画整理事業の本格化に伴い、近く盛土工事が始まります。神輿が、現在のコースを練り歩くのは、今回で最後になります。小槌神社宮司の松橋知之さん(44)は「祭りを続けるのが私の役目。工事が始まって、可能なルートで神輿を練り出したい」と話しています。



祭り舞台裏の人たち

町をあげての祭りが今年も盛大に催されました。祭りを盛り上げた舞台裏の人たちを追いました。

祭りを彩る山車を制作

宮大工の小石幸悦さん

町内の仮設住宅に住む宮大工の小石幸悦さん(66)は、次男の幸輝さん(32)とともに、震災後4基の山車を制作しました。震災で失われた中須賀大神楽、城内大神楽、吉里吉里大神楽、雁舞堂七福神の山車です。ヒノキ造りの、すがすがしい山車は、町民の復興へ願いを乗せて、大槌の祭りを盛り上げました。



雁舞堂七福神の山車と小石幸悦さん=9月6日、小鐘

小石さんは中心市街地に住んでいて被災し、母親、姉、おいを失くしました。仕事場も津波に襲われ、道具類はほとんどが流されました。山車の注文に応じられる状況ではありませんでした。しかし、小石さんは、こう考えました。祭りはまちを元気にする。地域再生、

復興への足がかりになる。何としても山車を造って祭りを盛り上げよう。

すべての山車が総ヒノキ造り。彫刻、屋根の銅板葺きまで、親子で手がけました。中央部が弓型で、左右両端が反り返った唐破風作りに、四方千鳥の屋根を組み合わせた山車は、奈良や京都で修業して身に付けた技術が生かされています。山車制作には日本財団などからの助成金が充てられました。

小石さんは「これからも、持っている技術を生かし、まちを元気づけたい」と話しています。

担ぎ手に全国から108人

2基の神輿渡御の応援に

小鐘神社には神輿の担ぎ手による「社人会」という団体があります。固定したメンバーは15人ほど。神輿渡御では、全国からの応援組が加わり、108人で神輿を担ぎました。

小鐘神社には2基の神輿があります。担ぎ手は身長170センチ以上、以下の2組に分かれて担ぎました。身長に差がある人が入り混じると、うまく担ぐことができないためです。神輿は神社から午前9時ごろに繰り出し、午



神輿渡御を控えた担ぎ手たち=9月23日、小鐘神社

後5時過ぎに戻ってきました。交代して担ぐとはいえず、途中で走ったり、神輿をぐるぐる回したりするため、肉体的に楽ではありません。担ぎ手は募集され、衣装は神社で準備されました。

「大槌を離れていても、祭りには戻ってきて神輿を担ぐ人が少なくない」と社人会会長の三浦順さん(40)。昨年、初めて担ぎ手に応募した埼玉県上尾市の大学4年生鈴木健太さん(23)は「3年、担がないと御利益がないというので今年も応募しました」と話し、町役場の応援職員中村彬良さん(24)は「つらかったけれど沿道の声援で頑張れた」と語っています。

集落に根づく郷土芸能

文化庁が調査を始める

鹿子踊、神楽、虎舞……。町内には20を超える郷土芸能の団体があり、そのうち18団体が町郷土芸能保存団体に加盟しています。なぜ、数多くの郷土芸能団体が地域に根付いて活動しているのか。どのようにして後継者を育て

ているのか。文化庁の調査事業が始まりました。

調査は文化庁の文化遺産地域活性化推進事業の一環です。調査員の国学院大教授の茂木栄さん(62)、御嶽山御嶽神明社禰宜の佐藤一伯さん(44)が、祭りの期間中、町に入りました。各団体の関係者の聞き取り調査をし、一連の例大祭の行事を見学しました。

町の郷土芸能は、町内のそれぞれの集落で、親から子、子から孫へと伝承されてきました。江戸時代に創作されたとされる吉里吉里虎舞講中のように町の無形民俗文化財に指定されているものもあれば、城山虎舞のように平成に入ってから活動を始めた団体もあります。同じような郷土芸能が、並存しているのが特徴です。

町郷土芸能保存団体連合会は平成4(1992)年に結成されました。それまでは互いに張り合い、ぶつかり合うこともあったそうです。

祭りを見た茂木さんは「独自色が濃い地域が、競い合い、継承されてきた」と分析しています。佐藤さんは「震災後、祭りは、復興に向けて町民が心を一つにする場になっているように感じました」と話しています。



祭りの調査の打ち合わせをする茂木栄さん(右)と佐藤一伯さん(左)=9月23日、小鐘神社

1カ月早く「吉里吉里祭り」

「吉里吉里祭り」は、8月25日、天照御祖神社を中心にかれました。繰り出した神輿の列に、鹿子踊、大神楽、虎舞が加わり、祭りを盛り上げました。

午前9時前、神輿が出発しました。「オーヨ」「オーヨ」という掛け声が浜風に乗って、周辺にこだましました。鹿子踊が先導役で、大神楽、神輿と続き、神輿を虎舞が後押ししました。神輿の列は吉里吉里海岸に向かい、砂浜で、震災犠牲者の慰霊と鎮魂のために、大祓式を執り行いました。神輿の列はその後、吉里吉里地区内を練り歩きました。ところで、郷土芸能の演舞があり、沿道に集まった人たちの目を楽せました。

午後1時過ぎに、神社前の広場でフィナーレを迎え、神輿、鹿子踊、大神楽、虎舞の四者で混沌とした輪が出来ました。



大槌町郷土芸能保存団体連合会加盟の18団体

(※五十音順)

- 白澤鹿子踊
- 金澤鹿子踊
- 上京鹿子踊
- 吉里吉里鹿子踊
- 徳並鹿子踊
- 安渡大神楽
- 吉里吉里大神楽
- 城内大神楽
- 中須賀大神楽
- 浪板大神楽
- 花輪田神楽
- 松の下大神楽
- 安渡虎舞
- 大槌城山虎舞
- 吉里吉里虎舞講中
- 向川原虎舞
- 陸中弁天虎舞
- 雁舞道七福神

町民課からのお知らせ

▼専業主婦(夫)の年金が改正されました

平成25年7月1日から専業主婦の年金が改正され、会社員の夫が退職した際などに年金の切り替え手続きが遅れたり漏れたりしているために、保険料が未納となっている主婦が手続きをすれば年金を受け取れるようになったり、年金額を増やせるようになったりする場合がります。

◎主婦年金からの切り替えの手続きが2年以上遅れたことがある人は、今すぐ手続きをしましょう

原則として20歳から60歳までのすべての人が「年金」に加入することになっていますが、サラリーマンの夫(2号被保険者)に扶養されている妻(専業主婦:3号被保険者)は、保険料を納める必要はありません。

ただし、夫が退職した場合や妻自身の年収が増えたときなどは、手続き(3号被保険者から1号被保険者への変更)をして、保険料を納めなくてはなりません。

この手続きが2年以上遅れたことがある人は、2年以上前の保険料を納付することができないため、保険料の「未納期間」が発生します。

このたび、専業主婦の年金が改正され、このような人が手続きをすれば、「未納期間」を「受給資格期間」に算入するこ

とができるようになりました。
※妻がサラリーマン、夫が専業主夫の場合も同様です。

◎手続きをすれば、無年金や年金の減額を防ぐことができます

※老齢年金だけではなく、万が一の時の障害年金などの受給権の確保にもつながります。

◎保険料納付で年金額がアップします

手続きをすれば、本来はさかのぼって払うことができなかった期間の保険料を納付することができます(最大10年分)。保険料を納めれば、年金額が増えます。
※平成27年4月から保険料の納付ができるようになります。手続きをした人に、平成27年4月に向けて保険料納付のご案内を郵送する予定です。

詳しくは、「国民年金保険料専用ダイヤル」またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

◎宮古年金事務所

Tel 0193(62) 1963

町民課国保年金班

Tel 0193(42) 8713

保健福祉課からのお知らせ

▼日本赤十字社の社資のご協力をお願いします

日本赤十字社は、日本赤十字法という法律に基づいて設置された法人です。災害時における救護活動や物資の配給のほか、献血事業での輸血用血液の確保と供

給など幅広い人道的活動を展開しています。

その活動に要する費用は、赤十字の理念やその活動内容に賛同いただいた会員「社員」の皆さまから拠出いただく会費「社費」と、広く皆さまからお寄せいただいた「寄附金」によって運営していることから、現在、役場窓口で社費や寄附金の受付を行っていますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

※「社費」とは、日本赤十字社の活動を支えてくださる会員(社員)で、毎年500円以上の会費を納めてくださる人で、個人、法人を問わずどなたでもご加入いただけます。

「寄附金」とは、金額など任意にご協力いただく方法です。

「社資」は「社費」と「寄附金」の総称です。社費も寄附金も税制上は「寄附金」として扱われます。

◎保健福祉課地域福祉班

Tel 0193(42) 8715

▼「第2回 男性の料理教室」魚の三枚おろしに挑戦してみよう」開催のお知らせ

男性の料理教室を左の日程で開催します。今回の教室では旬の魚を使った簡単料理を行う予定です。なお、教室への参加を希望される人は、事前にお申し込みください。また、定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

町民課からのお知らせ

▶愛犬には狂犬病予防注射を必ず受けさせましょう

狂犬病予防法により、犬の飼い主には、狂犬病予防注射の年1回(4月1日~6月30日までの間)の接種が義務付けられており、違反して飼い犬に予防注射を受けさせなかった者は、20万円以下の罰金に処せられる場合があります。

町では、狂犬病の予防注射を受けていない犬を対象に予防注射を下記日程により実施しますので、この機会に必ず受けてください。(雨天でも実施します)

■対象 生後91日以上飼育された犬で、今年度中に狂犬病予防注射を受けていない犬

※町への犬の登録をしている人で予防注射未接種と思われる人に案内を送付します。

■日程表 ※各実施場所とも、対象地域は指定しませんので、都合の良い時間・場所を選び、予防注射を受けてください。

○10月30日(水)

地区名	場所	受付時間
小鍬	小鍬地区多目的集会所	9:30~9:35
	蕨打直バス停	9:40~9:50
白沢・寺野	ふれあい運動公園内テニス場前	9:55~10:05
花輪田	雇用促進住宅前	10:10~10:20
桜木町	桜木町中央公園	10:25~10:30
大ケ口	大ケ口多目的集会所	10:35~10:45
	盛合農機具店前	10:50~11:00
沢山	スカイ測量設計前駐車場	11:05~11:15
	旧大槌北小学校駐車場	11:20~11:25

○10月31日(木)

地区名	場所	受付時間
金沢	金沢支所	9:30~9:35
	金沢地区生活改善センター	9:45~9:50
和野	大槌第5仮設団地前	10:00~10:05
前段	大槌第9仮設団地前	10:10~10:20
榎内	大槌仮設団地前	10:25~10:30
安渡	旧安渡小学校	10:40~10:50
赤浜	県交通大槌出張所前	10:55~11:00
吉里吉里	吉祥寺入口付近	11:10~11:20
浪板	浪板交流促進センター前	11:25~11:35

■持参するもの

・送付された通知書 ・注射料金 2,550円 ・注射済票交付手数料 550円

・登録手数料(新規登録する場合のみ) 3,000円

※おつりがないように準備をお願いします。

■その他 すでに動物病院などで予防接種を行った人で予防注射済票の交付を申請していない人は、病院で発行の注射済票明書を持参のうえ、役場町民課で予防注射済票の交付申請手続きをお願いします。

狂犬病予防法に基づき、飼い主には犬の登録申請・鑑札の装着、狂犬病予防注射の接種・予防注射済票の装着などが義務付けられています。愛犬のために手続きは忘れずに！

◎町民課 町民生活班 Tel 0193-42-8713

保健福祉課からのお知らせ

▶おきらく教室(吉里吉里会場)を開催します

趣味を通して、新しい仲間づくり、楽しみをみつけてみませんか?大槌町地域包括支援センターでは、趣味の教室を下記の通り開催します。お気軽にご参加ください。

教室への参加を希望される人は事前にお申し込みください。また、定員になり次第、申し込みを締め切りますのでご了承ください。

■対象者 町内にお住まいの人

■場所 吉里吉里地区体育館(旧吉里吉里中学校体育館)

■参加料 無料 ※道具は貸し出します

日程	内容	定員
10月8日(火) 10:00~11:30	エコクラフト教室① 紙バンドを使い、バスケットやバックを作る手芸です。	10名
10月15日(火) 10:00~11:30	エコクラフト教室② 同上。2回目の開催になります。	10名
10月24日(木) 13:30~15:00	マーブルアート教室 ビー玉とワイヤーを使い、オブジェやアクセサリを作ります。	15名
10月29日(火) 10:00~11:30	陶芸教室 粘土を器などに整形して高温で焼きます。	15名

【協力】いきいき岩手支援財団

◎保健福祉課大槌町地域包括支援センター班 0193-42-8716

■日時 10月17日(木) 10時~13時

■場所 中央公民館 調理室

■対象者 町内にお住まいの男性

■持ち物 エプロン、三角巾(タオルでも可)

■参加費 無料

■定員 10名

◎保健福祉課健康推進班

Tel 0193(42) 8715

商工労政課からのお知らせ

▼「産業集積地(新町地区、安渡地区)に関する事業者向け説明会」を開催します

町では、町内事業者の事業再建先や新規事業者の立地先として、新町地区および安渡地区に産業集積地の整備を計画しています。つきましては、その事業内容や進捗状況、今後のスケジュールについて、事業者の皆さまにご説明することを目的として、左記のとおり「産業集積地(新町地区、安渡地区)に関する事業者向け説明会」を開催します。

■日時 10月21日(月) 19時~

■場所 大槌町役場3階 大会議室

■対象 産業集積地(新町地区、安渡地区)の利用を希望されている事業者(震災以降に新たに立地された事業者も含まれます)

◎商工労政課商工班

Tel 0193(42) 8725

保健だより

健診・相談・予防接種

健診・相談を下記のとおり実施します。

【3歳児健康診査】

- 実施日 10月25日(金)
- 受付時間 12:00～12:30
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 平成22年4月生まれおよび5月生まれ

【4ヵ月児・7ヵ月児相談】

- 実施日 10月7日(月)
- 受付時間 9:30～10:00 (平成25年3月生まれ)
13:30～14:00 (平成25年6月生まれ)
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 4ヵ月児相談:平成25年6月生まれ
7ヵ月児相談:平成25年3月生まれ

【12ヵ月児相談】

- 実施日 10月23日(水)
- 受付時間 9:30～10:00 (平成24年9月生まれ)
13:30～14:00 (平成24年10月生まれ)
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 平成24年9月生まれおよび10月生まれ

【BCG予防接種】

- 接種日 10月8日(火)
- 受付時間 13:00～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 平成25年4月生まれ
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【四種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ)予防接種】

- 接種日 10月18日(金)
- 受付時間 13:00～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 平成18年5月～平成25年7月18日以前生まれ
(生後3ヵ月～90ヵ月)

※三種混合とポリオの予防接種をまだ一度も接種していない者

【三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)予防接種】

- 接種日 10月22日(火)
- 受付時間 13:00～13:10
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 平成18年5月生まれ～平成24年4月生まれ
(生後3ヵ月～生後90ヵ月)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

【不活化ポリオ予防接種】

- 接種日 10月22日(火)
- 受付時間 13:10～13:20
- 会場 大槌町仮設保健センター
- 対象者 平成18年5月生まれ～平成24年4月生まれ
(生後3ヵ月～生後90ヵ月)
- 持ち物 予診票 母子健康手帳

☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

平成25年度高齢者インフルエンザ予防接種について

下記のとおり、インフルエンザ予防接種の接種費用の助成を行いますので、期間内に接種しましょう。

■助成対象者

1. 町内に住所を有する接種日時時点で65歳以上の人
2. 町内に住所を有する接種日時時点で満60歳以上65歳未満の人で心臓、じん臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害(身体障がい者手帳1級程度)を有する人

■助成期間 10月15日(火)～12月14日(土)

■接種回数 1回

■接種料金 町および釜石市の実施医療機関で接種した場合は2,000円
(生活保護世帯の人は無料になります。対象になる人には町から通知します。)

■接種の申し込み

1. 事前に、必ず医療機関に予約をしてから接種してください。
2. 町内の医療機関には予診票が置いてあります。町外で、接種を希望される人は、事前に役場保健福祉課健康推進班までお問い合わせください。

インフルエンザウイルスに感染すると、38度以上の熱が出たり、悪寒、関節痛などの症状が出ます。特に高齢者や持病がある人が重症化する場合がありますので予防が必要です。

予防接種を受けることで、インフルエンザにかかりにくくなったり、重症化するのを防ぐことはできますが、完全に感染を防止できるわけではありませんので、手洗い・うがい、十分な休養とバランスのとれた食事を心掛けましょう。

☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

おらほの町の地域包括支援センター



ここでは、高齢者に関わる様々な話題を掲載しています。

みんなで学ぼう認知症

「認知症」は、誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上になると4人のうち1人に認知症の症状があるとされています。単に記憶力や判断力が低下しただけではなく、それによって日常生活に支障が出ている場合を認知症といえます。早期発見して正しく治療すれば、症状が改善したり、進行を遅らせることができます。

認知症の原因となる病気

- アルツハイマー病……脳の神経が障害され脳が委縮します(認知症の原因の6割を占める)
- 脳血管性認知症……脳の血管が詰まったり、破れて出血したりして神経細胞が障害されます
- その他の認知症……甲状腺の疾患や水頭症、ビタミンB12の欠乏などが原因で起こるものです。病気を治療すれば、認知症も治ることがあります。

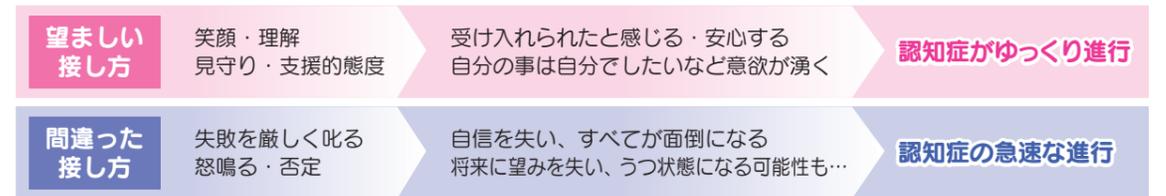
一年前に比べてこんな実感はありませんか?

- 物覚えがわるくなった
- 集中力がなくなった
- 段取りがわるくなった

こんな症状が顕著なら、かかりつけの医師や認知症の専門医に相談することが大切です!

※認知症専門医(医療機関の精神科・神経内科・老人科など)

接し方で認知症の進行度が変わります



▶高齢者実態把握事業実施のお知らせ

高齢者実態把握事業とは??

65歳以上の方の生活状況を把握するためのもので、方法として、高齢者基本台帳を作成しています。高齢者基本台帳には、身体状況、生活状況、緊急時・災害時などに備えて緊急連絡先や、かかりつけ医などを記入いただいています。また、同意いただいた人については、警察、消防、行政機関、自主防災組織などと必要時情報を共有し、連携を図ります。個人情報の使用については、必要最小限とし、緊急時及び公共の高齢者サービスの提供にかかわる目的以外に使用することはありません。

当事業を今年度は、下記のとおり実施します。事業の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

◇実施期間:10月～11月 ◇対象者:65歳以上の町民

◇調査方法:10月上旬に対象者に台帳を送付しますので、ご記入ください。後日、民生児童委員などが回収にお伺いします。

☎保健福祉課 大槌町地域包括支援センター班 TEL 0193-42-8716

栄養教室を開催します

大槌町地域包括支援センターは、高齢者の皆さまがいつまでも健康で生き生きとした生活を送ることが出来るように、栄養教室を行います。

■対象 大槌町に住所を有する65歳以上の人

■会場 中央公民館安渡分館

■期日 10月21日(月)、10月28日(月)

※大ケ口多目的集会所でも実施予定となっています。

■時間 10:00～12:00

■内容

21日:管理栄養士による食生活のポイントの話や、ゲームを取り入れながらの食生活の見直し

28日:講話の内容を踏まえ、調理実習を行います

■申込方法 前日までに直接または電話で申し込みください。

☎保健福祉課大槌町地域包括支援センター班

TEL 0193-42-8716

【世界の子どもにワクチンを日本委員会支援によるインフルエンザ予防接種について】

認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会のご支援により、生後6ヵ月から中学3年生までの人を対象としたインフルエンザ予防接種の費用助成が行われますので、期間内に接種しましょう。

■接種対象者 町内に住所を有する接種日時時点で生後6ヵ月から中学3年生までの人

■助成期間 10月15日(火)～12月14日(土)

■接種回数 ○生後6ヵ月から13歳未満の人 2回接種

○13歳以上から中学3年生までの人 1回接種

■助成内容 1回接種の場合 2,000円の助成

2回接種の場合 4,000円の助成

■接種の申し込み

1. 事前に、必ず医療機関に予約をしてから接種してください。
2. 町内、釜石市内の医療機関以外で接種を希望する人は、助成の対象外となります。

☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715



加賀 東蔵さん(69)

自宅は高台にあったが半壊。娘の家で避難生活を送り吉里吉里の災害公営住宅で妻と2人暮らし



一定面積以上の土地取引は届け出が必要です

一定面積以上の大規模な土地取引をされた場合、国土利用計画法に基づく届け出が必要なことをご存知でしょうか？土地の売買契約などを結んだ日から2週間以内に、その土地が所在する市役所、町村役場への届け出が必要です。届け出が必要な面積は次の通りです。

市街化区域	2,000㎡以上
市街化区域を除く都市計画区域	5,000㎡以上
その他の区域	10,000㎡以上

●お問い合わせ

大槌町役場 復興局 用地建築課
電話 0193-42-8719
県環境保全課 電話 019-629-5268・5269

◆吉里吉里災害公営住宅 友人たちがひっきりなしに 来てくれるんだよ

加賀東蔵さん

「最初、5階はよんだなあと思ったけれど慣れた。動きやすい快適な作りでお風呂もガスも使いやすいし、収納も充実してるからね。今では快適、前から住んでたような気がする」

吉里吉里の災害公営住宅はマンション型式。この辺りでは馴染みが薄いマンションですが加賀さんは入居してから快適さを実感しています。震災で高台にあった自宅は津波被害は逃れたものの半壊。その後津波で亡くなった長男の供養をしながら知人、親戚、お子さんの家を行ったり来たりしていました。「ホタテ、ワカメ、ホヤの養殖をしていたけれど施設も全部流されてしまった。大きな収入も見込めない。再開にもお金がかかるし家を建てる見込みもない。宮城にいる娘のところまで暮らそうかと思ったがやっぱり吉里吉里に帰ってきたくて申し込んだんだ」

2DKタイプの住居はコンパクトながらもご夫婦お二人が今後の人生をゆったり快適に過ごせる空間。廊下やトイレも広くフラットで将来も見据えた設計になっています。長男を亡くしてからずっと海に恐怖心を抱いていた奥様はベランダから遠目

◆大ケ口災害公営住宅 長女の誕生日を広い家で 祝うことが出来ました

寒河江絵梨子さん

8月30日から始まった大ケ口地区（木造の長屋型式）と吉里吉里地区（マンション型式）の災害公営住宅への入居。それぞれの住宅へ入居した二世帯の方から震災後、災害公営住宅へ入居するまでの経緯、住宅の特徴、住み心地などをお聞きしました。

「震災の後山田町船越にある私の実家に何日かいて、その後沢山にある夫の実家へ避難しましたが義母は一人暮らしで部屋数も少なかつたため、申し訳ない気持ちになり長くはられないだろう、と思っていました。7月初めに仮設に入り、5人家族なので2Kを2戸借りることが出来ました。一つは生活する部屋、もう一つは寝るだけ、と行ったり来たりでした。買い物に不便だとか子ども

もの送り迎えが大変だとかはありましたが悪くはなかったですね」

寒河江さんは震災後から現在までを振り返り避難時のエピソードを時々に笑顔で語ってくれました。仮設住宅での生活は約2年。子どもをお隣の一人暮らしのおじいちゃん可愛がってくれたり、おかずをたくさん作ったときは持っていったりなどの近隣ともお付き合いがありました。そんな暮らしの中で災害公営住宅への申し込んだきっかけは、家を建てたくても土地が少なく、町がどこにどう出来て行くかわからないので公営住宅に入居してしばらく様子を見よう、ということでした。

「夫はどうせ当たらないからやめた方がいい、と言いましたし私も当たると思っていました。5人家族なので4DKが当たらなければ入居はやめようと思いました。入居が決まってから部屋を見に行った時、広い！と（笑）。仮設住宅から荷物を持って来てもスカスカになるの

に見える海にだんだんと慣れて来たとも。

マンションには集会所も設置され、今後自治会が出来る見込みです。「ここに住む知人に、手伝うからもし自治会作るなら一緒にやろう、と言われている。そして吉里吉里に帰って来たから今は定置のワカメの手伝いに行ってるんだ」と加賀さんはイキイキと話してくれました。

「前の家のように皆が集まって来る。息子の同級生なんかもひっきりなしに来てくれる」思い出の写真を時折見せながら、また夫婦でお互い冗談を言い合いつつもいたわり合いながら、ここでの暮らしを地域の人たちと営んでいこうという横顔が垣間見えました。



復興へ一歩
災害公営住宅
の暮らし



寒河江 絵梨子さん(37)

夫の実家→仮設住宅に避難後、8月末から大ケ口の災害公営住宅(4DK)に家族と5人暮らし

ではないかと思っただけです」

お部屋を拝見させて頂いたと各部屋の収納は充実しており、ご家族がゆったり出来る空間が広がっています。

「入居した次の日、お姉ちゃん（長女）の誕生日だったんですがここでお祝いすることができました。自分の部屋が出来て嬉しいと言っていて広くなったのでお友だちを呼んだりして遊んでいます。そしてお父さんと子どもたちが遊べる空間が出来ていいですね。夜、子どもたちが寝てから夫婦でくつろぐ時間も出来ました。仮設では子どもたちを起こさないように話し声にも気を使いましたから。縁側でバーベキューしたいですね」と寒河江さんは穏やかな笑みを見せてくれました。

大ケ口災害公営住宅は独立行政法人都市再生機構（UR）が建設を手がけました。人口の減少を食い止めるためにも入居者が長く住み続けられる工夫を、ということで地元産木材を活用し産業振興と雇用創出の効果も視野に入れて建てられています。周辺との調和を意識した低層の和風建築、車椅子居住者や高齢者に配慮した設計、交流の場になる集会所やベンチが設置された広場、大槌の水資源を活かした井戸など随所に様々な工夫が施されています。

ホテルはまぎく再出発

～「逆境に立ち向かう」胸に～

震災で被災し営業を休んでいた「浪板観光ホテル」が、「三陸花ホテルはまぎく」と改名し、8月30日、約2年半ぶりに営業を再開しました。ホテルは、社長が犠牲になる一方で、従業員が、秋田県五城目町の宿泊客を機敏に誘導して救い、町と五城目町との友情の絆を結ぶきっかけになりました。ハマギクの花言葉は「逆境に立ち向かう」。関係者の決意を秘めたホテルの再出発です。

震災時、ホテルは地上5階建ての旧館に、地下1階地上4階建ての新館が併設されていました。津波に襲われたホテルは3階まで水没し、社長、料理長が犠牲になりました。ホテルには秋田県五城目町の老人クラブのお年寄り一行42人が宿泊し、大衆演劇一座の芝居を鑑賞していました。全員が従業員に誘導され、近くの高台にある集会所に避難し、震災から3日目に、無事に帰路につくことが出来ました。

ホテルは、前社長の弟の千代川茂さんが社長に就き再開しました。客室が60室、宿泊収容人数は250人です。レストラン、日帰り浴場、会議室などのほか、震災前の町



の光景を写した写真を展示した防災展示室が付属しています。ロビーや客室からは、以前のように、雄大な船越湾の光景を望むことができます。

震災から2年半後の月命日の9月11日、五城目町の老人クラブから47人が訪れ、ホテルの再開を祝福しました。ホテル営業本部長の小国正裕さん(58)は「五城目町の方々とつながりを深めながら、おもてなしの心を大切に、お客様に接していきたい」と話しています。ホテルの連絡先は☎0193-44-2111。

町内から3団体が認定

～元気なコミュニティ団体～

震災で壊滅的な打撃を受けた町で、地道な活動を展開している「安渡町内会」「特定非営利活動法人まちづくり・ぐるっとおおつち」「一般社団法人おらが大槌夢広場」の3団体が、県の今年度の「元気なコミュニティ特選団体」に認定されました。9月5日、碓川豊町長を表敬訪問した3団体の関係者は、行政と連携しながら、復興に向けたまちづくりに協力し合うことを確認しました。

安渡町内会は、震災前の3町内会を統合して新たな町内会を結成。震災を検証し、独自の防災計画案を作りました。ぐるっとおおつちは、災害FM放送や思い出の品返還事業を展開、被災住民に寄り添った活動をしています。夢広場は、ボランティアツーリズムの企画、運営にあたるなど復興まちづくりの一翼を担っています。

元気なコミュニティ特選団体は、地域の過疎、高齢化などのハンディに負けずに活動している団体を対象に選考され、今年度、県内から14団体が認定されました。町役場



を訪れた3団体の関係者に、碓川豊町長は「行政だけの復興まちづくりには限界がある。みんなで一緒に、住みやすい町をつくろう」と呼びかけました。

安渡町内会の中村百合子さんは「団結して、いいふるさどをつくりあげたい」、ぐるっとおおつちの小松巧さんは「これまで以上にまちづくりに貢献したい」、夢広場の上野拓也さんは「身の引き締まる思い」と、語りました。

PHOTO まちかど



「小鉦川上流で、新山高原の風力発電機の幾何学模様と夕焼けとのコントラストが面白く撮影しました。撮影のタイミングに苦労しました」【7月7日、三浦寧史さん撮影】



「震災から2年半の月命日に、県外のお坊さんの慰霊行脚に出会いました。一行は旧役場前で慰霊法要した後、赤浜方面に向かいました」【9月11日、伊藤陽子さん撮影】

総合政策課では読者の皆さまからのニュース提供をお待ちしています。町民の方々に広く知ってほしい出来事があれば、お知らせください。「PHOTO まちかど」への写真投稿も歓迎です。変容する町の姿、震災前から変わらない町の光景を写真で切り取り、お寄せください。また、広報誌への感想や提言を、お送りください。はがき、手紙の場合は、住所、氏名、連絡先（電話番号など）を明記のうえ、〒028-1192 大槌町上町1-3 大槌町役場総合政策課・広報誌担当へ。

☎ 総合政策課 企画調整班 TEL 0193-42-8724 E-mail : sougouseisaku@town.otsuchi.iwate.jp

3年目の仮設 ～より良き暮らしのために～

私の思い出の写真はどこに ～仮設団地で返還展示会～

津波で流失し回収された品々を本人に返還しようという「思い出の品返還展示会」が、町内の仮設団地で開催されています。アルバムを探す団地の住民の方々の真剣な表情に、改めて震災の無残さを思わずにはられません。

震災による津波は、すべてを流し去りました。思い出がいっぱい詰まったアルバム、賞状、日記……。記憶とともに生きている人々から、記憶につながる品々を奪っていきました。これらの品が回収され、一人でも多くの所有者や家族の手に返したいと、展示会が開かれています。

小鉦第15仮設団地談話室では8月23日に展示会がありました。段ボール箱に入ったアルバムや写真が並べられ、仮設団地の住民が食い入るように見入っていました。安渡1丁目に住んでいた勝山栄子さん(74)は「思い出がいっぱい詰まったアルバムなどがすべて流されました。何とか探し当てたい」と話していました。

データベース化された品々は2万7千点。展示会は、町の委託で、「NPO人まちづくり・ぐるっとおおつち」が実施しています。メンバーの田中喜基さん(27)は「所有者の名前がわかっていても、どこに住んでいるかわからない人も少なくありません」と話しています。



町長随想

⑥ オリンピック開催と 眞の被災者支援

国際オリンピック委員会は、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催を東京に決めた。発表の瞬間、テレビにくぎ付けとなった。静まりかえった会場でIOCのロゲ会長が「TOKYO」と読み上げた瞬間、大きな歓声と拍手がわき上がり、関係者が抱き合っただけで喜びをわかちあっていた。国民的には決定を喜ぶべきであると思うが、私は、素直に喜べなかった。

震災から2年半、被災地では、一斉に工事の段階を迎え入札辞退や資材不足などが続いている。そこに来年の春の消費税の増税予定と合わせて、にわかなオリンピックのインフラ整備などで、復興の加速に影を落とされている。復興が遅れると、ますます人口流出が続く何のための復興か分からなくなる。

確かに、オリンピック開催による東日本大震災の被災地支援計画では、三陸海岸沿岸での聖火リレー、大会期間中の東北紹介イベント開催、競技施設の建設や改修に被災地の企業を中心に発注、大会開催前の東北地方の合宿地などを掲げている。今、被災地は復興が途についたばかりである。ここ3年ぐらいが復興工事の正念場であり、7年後の開催直前後の被災地支援は、眞の被災地支援になり得ないのではないかと。

精一杯の支援であろうことは理解できる。しかし被災地は、未だ草ぼうぼうの状態である。被災地の現状を忘れてはいないだろうか。

嘆いていても始まらない。いつの場合でも試練は付きまとうものだ。愚痴は言うまい。こんな時だからこそ、被災者目線に立ち、一日も早く復興を遂げ、心から「おもてなし」の気持ちで世界の人々を迎えたいものだ。
(碓川豊)



城山の風

発行：大槌町教育委員会 第68号 25. 10. 7
岩手県上閉伊郡大槌町小槌 32 金崎 126 TEL 42-6100

教育行政基本理念

町づくりは
人づくりにあり
人づくりは
教育にあり

木の香かおる学びと交流の空間

小中一貫教育校の設計業者選定

去る8月20日、平成28年の開校をめざす小中一貫教育校の設計を委託する業者選考の公開ヒアリングが行われました。選考委員会での審査の結果、昭和・久慈設計共同企業体の提案が最優秀作品に選ばれました。今後、提案を基に建設検討委員会やワーキンググループの意見を生かし年内に基本設計を終える予定です。

最優秀作品は、小中一貫教育校として、成長段階や学びの特性の応じた学習環境を鉄筋コンクリートと木造の混合2階建てを基本に、1階中央部分にまちの人々と共に学ぶ多様な学びと交流が生まれる空間として蓬莱島（ひょうたん島）の形を模したメディアセンター・ランチルームを配しています。

こんな学校に

〈みんなで育てる「私たちの学校」〉

- まちぐるみで創る学びのシンボル
- 「大槌らしさ」を学び育てる学校
- コミュニティが子どもたちを守り育てる学校

〈豊かな人間性・創造性を育む学び舎〉

- 思いやりを育てる環境
- 変化と多様性のある空間
- 子どもたちの元気な活動があふれる空間

〈自ら考え行動する人材を育む学び舎〉

- 多様な学習形態に対応する先進的な学習環境
- 主体性を育む空間
- 大槌の気候風土に根ざしたエコロジースクール

〈避難拠点機能の充実と学校機能の継続性〉

- 初期避難所としての機能の充実
- 学校機能の継続性



イメージ図です



「私の主張」地区代表に 長谷川七瀬さん(吉里吉里中)

釜石・大槌地区内7中学校の代表が学校生活や社会生活の中で感じたことを発表する「私の主張」が開催され、吉里吉里中学校の長谷川七瀬さんが最優秀賞に輝き、県大会への出場を決めました。長谷川さんは、郷土芸能への取り組みをとおした地域へのつながりと将来への希望をしっかりと論旨でまとめ、発表態度と共に審査員から高い評価を得ました。

教育委員会定例会リポート(9月)

19日に開かれた定例会では、諸般の報告に次いで議案2件について協議がなされました。

【選挙2号】

教育委員長の選出について

植田俊郎委員長が任期満了となることから、後任の

委員長を選任するもので、選挙の結果沼田義孝委員が選出されました。委員長の任期は26年9月20日までの1年となります。

【議案20号】

平成24年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検評価について

(ホームページで公開しています)

各校に緊急地震速報設置

～来る前に知る・備える～

このたび、町内小中学校に緊急地震速報端末を設置しました。

この機器により、気象庁から発令される緊急地震速報を受け、地震の発生を事前に感知し、地震や津波に対して防護、避難などの適切な対応が可能となります。

また、学校での避難訓練や防災教育にもシステムを活用し主体的に判断し、安全を確保する能力や態度を養います。

現在、大槌町立小中学校では震度2以上から震度4強までは職員室内での通知ですが、震度5以上の地震

の発生を感知した際には、学校の放送設備を通して周辺への通知を行います。

震源が近い場所では震度誤差が生じる場合もありますが、特性を理解し適切に利用することで、地震による被害の軽減が期待できます。

学校周辺の地域住民の方におかれましては、災害情報の取受に努めて頂かれますよう。御理解御協力のほど、よろしくお願いいたします。



小学校地区陸上記録会

—5種目で1位獲得—

9月11日、釜石・大槌地区陸上記録会が、遠野市の陸上競技場で開催され、本町から出場した選手の多くが上位入賞を果たしました。

【共通男子】

- ◇1000m 4位 佐々木大空(大槌小)
- ◇80mH 2位 佐々木陽稀(大槌小)
- 4位 倉本康喜(吉里小)
- 5位 三浦真(大槌小)
- ◇走高跳 6位 吉田寛太(大槌小)
- 8位 竹沢瑞生(吉里小)
- 8位 長峰康太(大槌小)
- ◇走幅跳 6位 黒沢真那斗(大槌小)
- ◇ソフトボール投 3位 芳賀勝(吉里小)
- 4位 八幡健太(大槌小)

【5年男子】

- ◇100m 1位 鈴木琉斗(大槌小)
- 8位 田中仁開(吉里小)
- ◇200m 4位 金崎大空(大槌小)
- 6位 兼澤大志(大槌小)
- ◇4×100mR 4位 大槌小学校
- 8位 吉里吉里小学校

【6年男子】

- ◇100m 1位 岡本崇凱(大槌小)

- 6位 佐々木慎也(吉里小)
- ◇200m 5位 東梅胤(大槌小)
- ◇4×100mR 2位 大槌小学校
- 5位 吉里吉里小学校

【共通女子】

- ◇800m 5位 石川明弥(大槌小)
- ◇80mH 5位 今出響香(大槌小)
- 7位 釜石りお(吉里小)
- 8位 上山華歩(吉里小)
- ◇走高跳 3位 城崎彩乃(吉里小)
- ◇走幅跳 7位 河合夏海(大槌小)
- ◇ソフトボール投 1位 近藤愛心(吉里小)
- 8位 芳賀みや(吉里小)

【5年女子】

- ◇100m 1位 佐々木愛梨(大槌小)
- 4位 六串真奈(大槌小)
- 5位 越田好葉(吉里小)
- ◇200m 2位 一兜葵(大槌小)
- 5位 佐々木結菜(大槌小)
- ◇4×100mR 1位 大槌小学校
- 7位 吉里吉里小学校

【6年女子】

- ◇100m 2位 金澤夢路(大槌小)
- ◇200m 4位 三浦叶夢(大槌小)
- 5位 久保美優(吉里小)
- 7位 小笠原愛夢(大槌小)
- ◇4×100mR 3位 大槌小学校
- 5位 吉里吉里小学校

まちのお知らせ

行政相談について

行政相談委員が相談に応じます。
■日時 10月18日(金)10:00～12:00
■会場 大槌町役場 1階 相談室 1
■相談委員 若生 晃さん
☎ 総務課総務班 Tel. 0193-42-8710

人権相談について

身のまわりで起きた人権問題(いじめ、虐待、家庭内暴力、離婚、扶養、相続問題、近隣関係、セクハラ、借金問題、その他困りごと)について、法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員が相談に応じます。
■日時 10月18日(金)10:00～12:00
■会場 大槌町役場 1階 相談室 2
☎ 町民課町民生活班 Tel. 0193-42-8713

無料法律相談について

岩手弁護士会では、下記のとおり無料法律相談会を開催します。
■日時 10月9日(水)、15日(火)、23日(水)
■時間 10:00～15:00
■会場 釜石市消費生活センター
 ※事前予約制となります。下記問い合わせ先で予約して下さい。
☎ 釜石市消費生活センター
 Tel. 0193-22-2701

無料労働相談会について

労使間の問題で悩んでいませんか。労働者と事業主との間のさまざまな問題について、岩手県労働委員(弁護士、労働団体役員、経営者など)がご相談に応じます。
 お気軽にご利用ください
■日時 10月27日(日)13:00～16:00
■会場 釜石地区合同庁舎
☎ 県労働委員会事務局
 Tel. 019-629-6276(平日8:30～17:15)

町内各地の放射線量についてお知らせします

町内の放射線量測定結果についてお知らせします。結果は下の表のとおりです。なお、国の除染基準は0.23 毎時マイクロシーベルトです。
☎ 町民課 町民生活班 Tel. 0193-42-8713

測定地点	9月9日(月)時点	測定地点	9月9日(月)時点
小鎗小学校仮設団地	0.082	大槌第5仮設団地(和野橋下流)	0.069
小鎗仮設団地(佐野屋球場)	0.071	金沢小グランド	0.063
大槌町役場	0.073	桜木町中央公園	0.067
安渡第2仮設住宅(旧小学校)	0.071	源水(屋敷前)	0.055
赤浜小学校グラウンド	0.057	大ケ口公園	0.073
吉里吉里中学校仮設団地	0.063	沢山地区(高森団地)	0.069
吉里吉里第5仮設団地(駅公園)	0.073	沢山地区(郵便局脇)	0.069
吉里吉里第2仮設団地(浪板)	0.076	花輪田定住促進住宅裏	0.049
大槌第7仮設団地(大槌橋下流)	0.074	測定地点平均値	0.068

いわて花巻空港の平成25年下期ダイヤ発表のお知らせ

いわて花巻空港の定期便のダイヤが10月27日から改正されます。
 札幌線(最短55分)、名古屋線(最短70分)、大阪線(最短80分)、福岡線(最短110分)のほか、宮崎(大阪乗継)や高知(名古屋乗継)も利用できます。
 いわて花巻空港は、釜石自動車道「花巻空港IC」から車で3分。駐車場(1,150台)は無料です。

【札幌線】(JAL)

花巻発	札幌着	札幌発	花巻着
8:55	9:50	7:30	8:30
13:15	14:10	11:50	12:50
17:55	18:50	16:25	17:25

【名古屋線】(FDA)

花巻発	名古屋着	名古屋発	花巻着
9:20	10:45	7:40	8:50
18:50	20:15	17:10	18:20

※この他、JAL 福岡(大阪乗継)、FDA 福岡(名古屋乗継)、JAL 宮崎(大阪乗継)、FDA 高知(名古屋乗継)もご利用できます。詳しくは、各航空会社にお問い合わせください。

☎ 日本航空(JAL)0570-025-071 / フジドリームエアラインズ(FDA)0570-55-0489

【大阪線】(JAL)

花巻発	大阪着	大阪発	花巻着
10:00	11:35	8:10	9:30
12:15	13:50	10:25	11:45
14:55	16:30	13:05	14:25
18:45	20:20	16:55	18:15

【福岡線】(JAL)

花巻発	福岡着	福岡発	花巻着
14:00	16:20	11:40	13:30

平成26年度「児童福祉週間」標語募集

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間(5月5日～5月11日)」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のために各種事業を行っていますが、平成26年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。

詳細については、(一財)こども未来財団のホームページをご参照いただくか、下記お問い合わせ先でご参照ください。

■募集期間 9月2日(月)～10月21日(月)
 ※役場に提出する際は10月7日(月)まで
■募集内容 元気で頑張る子どもたちを応援する標語や未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語
☎ (一財)こども未来財団
 事業部標語募集係 Tel. 03-5510-1833

思い出の品返還展示会

津波で流された写真や賞状などの思い出の品を返還する展示会を開催します。お気軽に参加ください。

■日時・会場
 ・10月7日(月) 安渡第2仮設談話室
 ・10月8日(火) 大ケ口集会所
 ・10月10日(木) 大槌仮設談話室
 ・10月12日(土) 大槌第9仮設談話室
 ・10月14日(月) 桜木町集会所
 ・10月15日(火) 大槌第10仮設談話室
 ・10月16日(水) 大槌第8仮設談話室
 ・10月18日(金) 大槌第7仮設集会所
 ・10月20日(日) 大槌第5仮設集会所
 ・10月22日(火) 金沢談話室
 ・10月25日(金) 大槌第12仮設談話室
■各会場開催時間 10:00～15:00
 ※なお、会場の都合により日時が変更になる場合があります。
☎ NPO 法人まちづくりぐるっとおつち
 Tel. 0193-55-5221

障がい者就職相談会開催

障がいをお持ちの人を対象とした就職相談会が開催されます。
 町内や釜石市にある企業や事業所と直接お話しできる機会となりますので、就職を希望されている人はぜひご参加ください。
 事前にハローワーク釜石へ申し込みが必要になります。また、当日の日程や申込方法などについての詳細は下記へお問い合わせください。

■申込期限 10月18日(金)
■開催日時 10月25日(金)14:30～16:00(受付14:00～)
■開催場所 沿岸広域振興局 釜石地区合同庁舎4階大会議室(岩手県釜石市新町6-50)
☎ ハローワーク釜石 Tel. 0193-23-8609

求職者のための職業訓練受講生募集(11月入所生募集)

岩手職業能力開発促進センターでは11月入所生を募集しています。
■応募資格 ハローワークに求職手続きをしている人
■受講料 無料(ただし、テキスト代は自己負担となります。)
■募集科 住宅建築施工科(定員15名)
■募集期間 10月1日～10月31日
■訓練期間 11月19日～平成26年5月30日
■施設見学 平日10:00～と14:00～の2回
■受講申し込み お近くのハローワーク
☎ 岩手職業能力開発促進センター 遠野実習場(ポリテクセンター岩手遠野実習場)
 遠野市青笹町中沢8-1-8 Tel.0198-63-1411

大槌町カレンダー 10月7日(月)～11月4日(月)

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
7(月)	4ヵ月児・7ヵ月児相談のびのび広場(9:30～)	午前:内科、整形外科、眼科 午後:内科
8(火)	BCG 予防接種のびのび広場(9:30～)	午前:内科、外科 午後:内科、皮膚科
9(水)	無料法律相談(10:00～15:00)のびのび広場(9:30～)	午前:内科、皮膚科 午後:内科、皮膚科
10(木)	元気活きいき運動教室(13:30～)心配ごと相談(9:30～12:30)のびのび広場(9:30～)	午前:内科、外科 午後:内科
11(金)	のびのび広場(9:30～)	午前:内科 午後:内科
12(土)		完全休診(急患受付なし)
13(日)		完全休診(急患受付なし)
14(月)		完全休診(急患受付なし)
15(火)	無料法律相談(10:00～15:00)のびのび広場(9:30～)	午前:内科、外科 午後:内科、皮膚科
16(水)	のびのび広場(9:30～)	午前:内科、整形外科、皮膚科 午後:内科、皮膚科
17(木)	男性の料理教室(10:00～13:00)さわやかストレッチ教室(13:30～)のびのび広場(9:30～)	午前:内科、外科 午後:内科
18(金)	四種混合予防接種障がい者就職相談会臨床心理士相談(10:00～15:00)行政相談(10:00～12:00)人権相談(10:00～12:00)65歳到達者健康教室(13:30～14:30)のびのび広場(9:30～)	午前:内科 午後:内科
19(土)		完全休診(急患受付なし)
20(日)		完全休診(急患受付なし)
21(月)	栄養教室(10:00～12:00)産業集積地に関する事業者向け説明会(19:00～)のびのび広場(9:30～)	午前:内科、整形外科、眼科 午後:内科

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
22(火)	三種混合予防接種不活化ポリオ予防接種助産師相談(10:30～15:00)	午前:内科、外科、眼科 午後:内科、皮膚科
23(水)	無料法律相談(10:00～15:00)12ヵ月児相談のびのび広場(9:30～)	午前:内科、皮膚科 午後:内科、皮膚科
24(木)	元気活きいき運動教室(13:30～)助産師相談(10:30～15:00)	午前:内科、外科 午後:内科
25(金)	3歳児健康診査のびのび広場(9:30～)	午前:内科 午後:内科
26(土)		完全休診(急患受付なし)
27(日)	無料労働相談会(13:00～16:00)	完全休診(急患受付なし)
28(月)	栄養教室(10:00～12:00)のびのび広場(13:00～)	午前:内科 午後:内科、整形外科、皮膚科
29(火)	のびのび広場(13:00～)	午前:内科、皮膚科 午後:内科、皮膚科
30(水)	のびのび広場(9:30～)	午前:内科、整形外科 午後:内科
31(木)	のびのび広場(13:00～)	午前:内科、外科 午後:内科
11月		
1(金)	のびのび広場(9:30～)	午前:内科、外科 午後:内科
2(土)		完全休診(急患受付なし)
3(日)		完全休診(急患受付なし)
4(月)		

※心配ごと相談は、大槌町社会福祉協議会で実施しています。相談内容についてはお問い合わせください。
☎ 大槌町社会福祉協議会 Tel. 0193-41-1511

※のびのび広場では、大槌保育園を解放し、親御さんや子どもたちの交流の場を提供し、子育てに関する気軽な相談を行います。
☎ 大槌町地域子育て支援グループかりん Tel. 0193-42-2570

おめでた・おくやみ(敬称略)
 8月15日～9月15日分

【出生】
 祝田 愛礼菜(陽輔・白沢)
 昆 桜空(祥一・桜木町)
 三浦 寧心(公洋・前段)
 阿部 春心(守・赤浜一)
 小國 日菜子(満蔵・白沢)
 菊地 音禾(網喜・蕨打直)

【婚姻】
 {植田 孝行(上町)
 {新屋 治香(釜石市)

【死亡】
 金崎 聖(64・安渡二) 8/25
 佐野 チヨ(89・吉里吉里四) 8/29
 伊藤 チヨ(76・大ケ口二) 9/1
 川原 善行(62・吉里吉里一) 9/2
 小國 ユミ(81・新港町) 9/5
 中村 エキ(88・吉里吉里三) 9/6
 藤井 征司(73・大ケ口二) 9/7
 菊池 ツトミ(84・沢山) 9/7
 後藤 衛(81・沢山) 9/8
 岩間 政治(79・新町) 9/9
 畑中 勝雄(72・大ケ口一) 9/10
 松橋 敦子(77・吉里吉里四) 9/14

大槌学のすゝめ

⑥心の舵の取るにまかせむ

「平家物語」の冒頭、ご記憶の方、多いことでしょう。いや、悩まされた方が、でしょうか。

祇園精舎の鐘の声

諸行無常の響きあり

娑羅双樹の花の色

盛者必衰の理をあらはす

おごれる人も久しからず

唯春の夜の夢のごとし

たけき者も遂にはほろびぬ

偏に風の前の塵に同じ

一方、「方丈記」。

行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よとみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとままることなし。

これらが、大槌と、「大槌学のすゝめ」となにか関係あるの？と訝る方もおありかも。

良し津にも 悪しきところも身の船は

心の舵の取るにまかせむ

庵近く 植えし桜の咲くを観て 人知る

らめや花の心を

時く種の 生うるためしはみな人の 知れど空しくすべし世の中

「津」は、どうしても津波の印象があるでしょうけど、もともとは「湊」という意味。「良い湊に、或いはどうしようもないところに行き着くことも、自分自身を船に喩えるなら、心の持ちようなのでしょう、心の舵の取りようです」となりましょうか。

一部の紹介でしかありませんが、これらは、御社地を開いた、菊池祖晴の歌です。

祖晴和尚は、全国を行脚したのち、自身造営の東梅社における修行の傍ら、こうした思いを、経典書写の巻末や、掛け軸などに残しています。無情の世界観と捉えられるかもしれませぬ。けれども、未来への希望と受け止めることはできないでしょう。

「蓬莱島」は、もとは「珊瑚島」と呼ばれていたそうです。琵琶法師が語ったとされる「平家物語」。琵琶の標準的な大きさが三尺五寸だったこと、そして琵琶を抱える弁財天、それをお祀りしている島を、三尺五寸から、三と五、「さん」「ご」、珊瑚、珊瑚島、と呼んだ、とも言われていますが、確たる証拠はありません。

音楽が、あるひとときの時間を留めることができる「装置」であるとするなら、文学は或いは文字は、記憶を呼び起こすだけではなく、好奇心をかき立てる「媒体」でしょう。

盛者必衰の理、おごれる人も久しからず……、泡沫の恋、よとみに浮かんでいたのでしょうか。

祖晴和尚の教え、現代にも、そして未来にも通じることでしょう。

（大槌町教育委員会事務局
生涯学習課長 佐々木健）

編集後記

▼今月号は大槌祭り特集しています。祭りに参加できなかった人に、少しでも祭りの雰囲気や伝えられれば、と思いつながら作成しました。広報担当になり6カ月が経過しました。町民の皆さんに、行政情報をわかりやすく伝えることを心掛け、これからも頑張ります。（台野）▼今月号から、一部ページの取材から編集まで外部に委託し作成してもらいました。これから、目に見える復興事業が加速し、どんどん元気になっていく大槌を町民みなさんの視点から、より分かりやすく、より確実に発信していくことを目的としています。（花石）▼「大槌祭り」を3日間、追いかけて、郷土芸能を演じる団体の多さ、内容の多彩さに驚かされました。それぞれが、「おらが地元が一番」と思い、切磋琢磨していることが、エネルギーになっているのですね。祭りの盛り上がり、復興の力につながると信じています。（但木）



浮世絵師勝川春章の筆になる、町指定有形文化財「絹本着色 菊池祖晴画像」。裏面に、天明8（1788）年に画かれたとある。左端縦一行に、「庵ちかく・・・」、と記されている。長く菊池家に伝わってきたが、今回の震災で失われた。

写真は、花石公夫著、平成10（1998）年発行「閉伊の木食慈泉と祖晴」より。